

季刊

うさぎ亭

夏の終わり号



たぶん ● うさぎ



セミの声から秋の虫たちの声へ

夜を彩る声もすっかり変わってきました。

夏の終わりをつげる声、そんな感じにちょっとだけ涼しさを感じます。

今回は夏の終わり号

秋の虫たちの声と共にうさぎ亭もやってまいりました、今回も読んでくれてありがとうございます。

涼しい中間の季節まで後一步、静かな秋の足跡がそこかしこに聞こえてくる頃でしょう。

今年の夏、救出したセミさんの羽化を見られてとても感動しました。茶色の身体から生まれ出る白く青い姿。

忙しかったけれど良い夏でした。小さな命が羽ばたく姿はとても人の心を温かくしてくれます、夏の空気の暑さとは全然違う『暖かさ』を。

それでは夏の終わりを告げる中、うさぎ亭今号もはじまります。

それでは皆様、本日も皆様にとって良い一日でありますように。



普通のカタバミちゃんが伸びました。

知らず知らずのうちに生えてきた普通のカタバミちゃんです。我が家のベランダにはイモカタバミとベニカタバミがそれぞれの季節に花を咲かせてくれますが、今年はこの普通のカタバミちゃんが成長してくれました。

ところがなぜかお花が咲かないのです、どうしたことでしょうね？お花は咲かずに実を付け種を飛ばしていますが一向につぼみ以上成長しないのです。

過酷な環境でも芽を出すその姿に元気をもらえる存在ですが今回は私が見守ってあげていました。

いつもの恩返しかな？

それでもお花は咲かずに今年の元気な期間を終わろうとしております。

それでもまたいつか伸びてきてまた元気な姿を見せてくれるのを楽しみにしています。

いなくなってしまうのは悲しいけれど、次の楽しみをくれる存在です。

『さよなら』ではなくって『またね』ですね。

来年は今年飛ばした種がいっぱい芽を出してくれることを願っています。

『ありがとう』

その言葉で締めくくりたいですね。



抜け殻みつけたよ！

夏のお散歩は青い空が気持ちがいいですが陽射しが強く大変ですね。
そんな中、木陰に入るとほっとする一瞬があります。

これも夏のお散歩の醍醐味なのかもしれませんね、ゆるく流れる空気は暑くちょっと大変ですが、こうやってほっとする一瞬があると心安らぎます。

お散歩の中で色々と夏を代表する物を見つけてみたりしたのですが、今年一枚はこのセミの抜け殻。

今年は羽化に立ち会うことができたりクワガタを捕まえてみたり夏の始めにはカミキリムシを何度も見たり・・・なんだか虫たちに会う機会がとても多かったです。

ひまわり・ゆり・朝顔・・・お花も色々考えてみたのですが、このセミの抜け殻に決めました。

朝のお散歩、ちょっと木陰で涼を取る、そんな安らぎの一時に出会った小さな宝物ひとつ。そんな気持ちをこの絵に託します。

皆さんはこの夏、どんなものが印象に残りましたか？

夏の終わりの夜の一時、そんなことを思いながら過ごすのもいいかもしれませんよ。



今日は独楽だよ～

フェラムネを開けて必ずお目にかかるであろう息の長いおまけの一つです。
ハズレ？いやいやこれが意外と面白いのです。
それは沢山出てくるということにもつながりますが、微妙に色が違っていたりして楽しめます。

私もそうですが、マニアの方たちはこのおまけを避けるためにサーチすることができるようになります。
このおまけが出なくなったらマニアへの第一歩です。
でも『遊び方がわからない』なんて理由で生産中止になるおまけもあるのを考えるとこのおまけは一目で遊び方がわかる実に優秀なおまけの一つともいえるのです。

ちなみに私なんかの年代だとお刺身のパックの中でひととき鮮やかなピンク色のわさび皿にも似ているような気がしてならない。

なんとなく懐かしさを感じさせてくれるおまけで、しかもこの独楽、よく回るのです。

秋の夜長に良い大人が回す独楽、なんとなくシュールなり。



お詫びとこれからのこと

今年の春、突然動き出した私事のため当初予定していた本が延期としなくてはいけなくなっていました。

『いもむしくん（仮）』は当分の間凍結することにしました。

楽しみにしてくれていた方々本当に申し訳ありません。

私事になってしまいますがこの景色をもう見られなくなるということで私にとっても一大事な事、それがこの夏の終わり号にとっても大変な影響をもたらしてしまいました。私の心にちょっとした風が隙間を作ってしまったかのように流れて行きます。

ちょっと先になってしまいますが、これを何らかの形で作品にすることができればと思っています。

きっと自分語りのお話になってしまうのでしようけれどもし手に取っていただく機会がありましたらぜひ見てみてください。

今回はお詫びと訂正という形で1ページを締めくくらせていただきます。

今回もお読み頂きありがとうございました

夏の終わり・・・ゆっくりとやってくる様を毎年感じてゆくのですが、今年は8月末なのにすでに寒いです。

この本もついに8月末の出版になりましたが、今年の夏は色々なイベントがあり夏号の発刊の大変さがわかったような気がします。まるで夏休みの宿題をやっているような感覚がありました。

今年の夏は結構私自身にも重大な出来事があったりしましたが、予定していた作品がお蔵入りになってしまったことが残念で申し訳なくて・・・。

話は変わりますが、元気に葉を茂らせていたりんごっ子が落葉してしまう事件が発生。枯れてしまうのかと思われましたが小さな葉っぱがニョキニョキと。

小さな葉っぱに宿る小さな命、自然のふるまいの中に本当にさりげない力強さを見つけては感動しております。

もらえるものはいくらでもある、それに気付けることができれば自分にとってプラスになりますね。

大変なこともあります、残念なこともあります、それはきっと本当はプラスな出来事なのかもしれません。

さて、次号は創刊準備号から一年、特別号になるかな～なんて大きな風呂敷は広げませんが冬近し号位にはしたいと思っています。

それと、私のブログ『うさぎ亭にようこそ！！』もよろしかったらお立ち寄りください。毎日更新しておりますので小さな幸せが見つけれられるかもしれません。

<http://blog.emachi.co.jp/keroko4x3/> URLはこちらです。

それでは次号もよろしくお願いたします。

そして明日も皆様にとって良い一日でありますように。

